

運用報告書 (全体版)

第7期<決算日2020年12月1日>

DIAM日本経済成長戦略ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2013年12月2日から2028年12月1日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	主としてわが国の上場株式の中から、日本経済再生の恩恵を受けると考えられる銘柄に投資します。 銘柄の選定にあたっては、マクロ経済環境や各種政策の分析等（トップダウンアプローチ）に加え、個別企業の財務分析、株価割安度、株価成長性等の分析（ボトムアップアプローチ）を活用します。 株式の組入比率は原則として高位を維持します。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	決算日（原則として12月1日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：ニッポンのおもてなし

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「DIAM日本経済成長戦略ファンド」は、2020年12月1日に第7期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入率 株比	株式先物率 株比	純資産額 総額
	(分配落)	税金 込み	騰落 率			
3期 (2016年12月1日)	円 9,844	円 0	% △6.0	% 96.1	% -	百万円 4,034
4期 (2017年12月1日)	10,936	1,500	26.3	92.6	-	2,750
5期 (2018年12月3日)	10,099	0	△7.7	93.0	-	2,341
6期 (2019年12月2日)	10,090	0	△0.1	97.9	-	1,730
7期 (2020年12月1日)	12,162	1,500	35.4	94.5	-	1,364

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

(注4) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

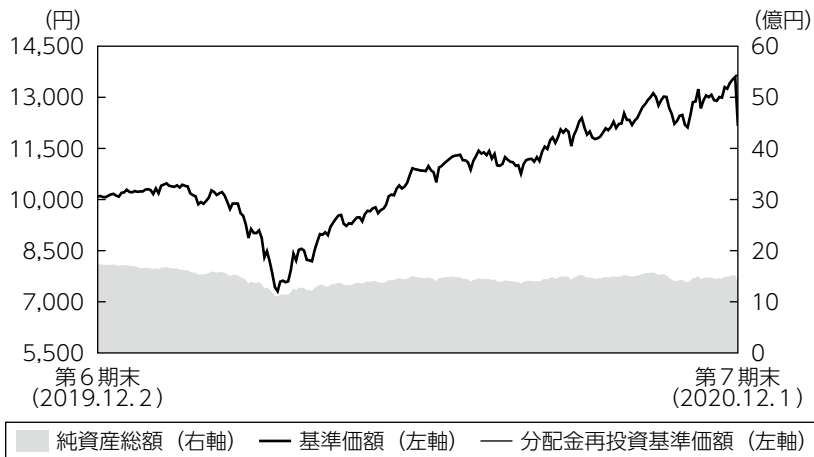
年月日	基準価額		株式組入率 株比	株式先物率 株比
	騰落率			
(期首) 2019年12月2日	円 10,090	% -	% 97.9	% -
12月末	10,279	1.9	97.7	-
2020年1月末	9,926	△1.6	98.5	-
2月末	8,873	△12.1	98.5	-
3月末	8,508	△15.7	97.6	-
4月末	9,481	△6.0	97.8	-
5月末	10,494	4.0	97.9	-
6月末	11,151	10.5	98.3	-
7月末	10,758	6.6	99.2	-
8月末	11,885	17.8	97.7	-
9月末	12,338	22.3	98.2	-
10月末	12,193	20.8	99.1	-
11月末	13,598	34.8	84.1	-
(期末) 2020年12月1日	13,662	35.4	94.5	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2019年12月3日から2020年12月1日まで）

基準価額等の推移



第7期首：10,090円
第7期末：12,162円
(既払分配金1,500円)
騰落率：35.4%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて急落した株式市場ですが、期末にかけては年初来高値を更新するまで回復しました。株価上昇を牽引した経済再生の担い手となる銘柄は、新しい技術による製品開発や新しい生活スタイルによる需要を捉えた企業群です。当ファンドの基準価額は、主には利益成長率の高い成長企業などの株価上昇により、前期末比で大きく上昇しました。具体的には、BASE、HENGE、ヤーマンなどが基準価額に大きくプラスに寄与しました。

投資環境

国内株式市場は良好な企業業績などを背景に期初より2020年年明けまで堅調に推移しました。2月に入ると一変し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて世界の株式市場が急落し、国内株式市場も大幅な下落となりました。3月後半からは持ち直しの動きとなり、ワクチン開発や経済活動再開への期待などから株式市場は復調を維持し、期末にかけては、日米の新政権による政策や主要国の金融緩和策などへの期待から一段の上昇を見せました。

ポートフォリオについて

国内の上場株式のうち、日本経済再生により株価上昇が期待できると考えられる銘柄に投資を行いました。投資テーマとしては、5G（第5世代移動通信システム）の普及、再生エネルギー、企業のネットワーク構築やクラウドシフトの進行、先端医療の躍進、新時代の決済システムなどに注目しました。成長戦略関連銘柄をポートフォリオの中心と位置付け、投資比率の大きな変更は行っていません。

【運用状況】 ※組入比率は純資産総額に対する割合です。

○組入上位10銘柄

期首（前期末）

No.	銘柄名	通貨	比率
1	ソニー	日本・円	3.3%
2	キーエンス	日本・円	3.1
3	ダイキン工業	日本・円	3.0
4	トヨタ自動車	日本・円	3.0
5	ニトリホールディングス	日本・円	2.6
6	GMOペイメントゲートウェイ	日本・円	2.3
7	信越化学工業	日本・円	2.1
8	HOYA	日本・円	2.0
9	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.0
10	日本電産	日本・円	2.0
組入銘柄数		69銘柄	

期末

No.	銘柄名	通貨	比率
1	グリムス	日本・円	3.0%
2	ソニー	日本・円	2.9
3	キーエンス	日本・円	2.7
4	ダイキン工業	日本・円	2.7
5	ファーストリテイリング	日本・円	2.6
6	東京エレクトロン	日本・円	2.4
7	村田製作所	日本・円	2.2
8	イビデン	日本・円	2.2
9	信越化学工業	日本・円	2.2
10	TDK	日本・円	2.2
組入銘柄数		58銘柄	



分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年12月3日 ～2020年12月1日
当期分配金（税引前）	1,500円
対基準価額比率	10.98%
当期の収益	1,500円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	2,162円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

日米新政権の政策や欧米での追加的な金融緩和への期待から、株式市場への資金流入は継続すると見えています。国内企業の業績は回復軌道にあり、今後、2021年度の企業業績見通しが切り上がる水準となれば、株式市場は騰勢を強める可能性があると考えています。ポートフォリオにつきましては、日本経済再生により株価上昇が期待できる銘柄への投資を積極的に行う方針です。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	(2019年12月3日 ～2020年12月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	187円	1.733%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,768円です。
(投信会社)	(91)	(0.845)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(91)	(0.845)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	16	0.146	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(16)	(0.146)	
(c) その他費用	0	0.001	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	202	1.880	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

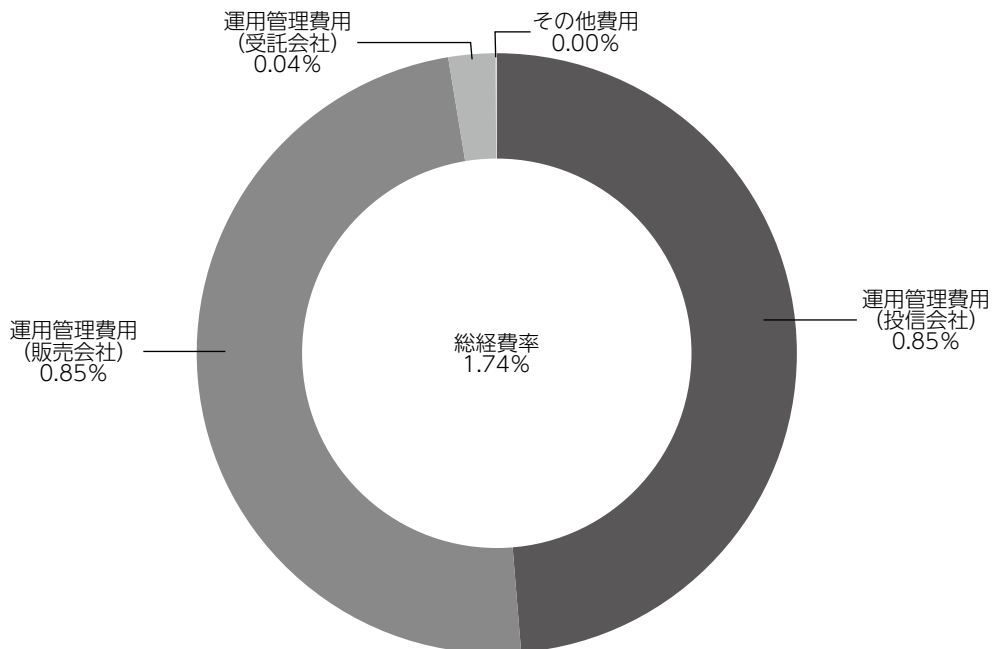
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2019年12月3日から2020年12月1日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内 上 場		千株	千円	千株	千円
		489.6 (47.1)	1,564,401 (-)	822.9	2,412,488

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	3,976,889千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,401,812千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	2.83

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2019年12月3日から2020年12月1日まで)

(1) 期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D / C
株 式	百万円 1,564	百万円 583	% 37.3	百万円 2,412	百万円 963	% 39.9

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	2,131千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	851千円
(B) / (A)	39.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
建設業 (－%)			
五洋建設	25	－	－
食料品 (－%)			
寿スピリッツ	2.2	－	－
日清食品ホールディングス	2.5	－	－
化学 (3.4%)			
信越化学工業	3	1.7	29,945
三菱瓦斯化学	－	6	13,284
医薬品 (1.3%)			
中外製薬	3	－	－
ロート製薬	5	－	－
JCRファーマ	2.3	－	－
そーせいグループ	8	－	－
ペプチドリーム	4	－	－
ヘリオス	－	9	17,334
ガラス・土石製品 (1.4%)			
TOTO	－	3	18,120
金属製品 (1.2%)			
横河ブリッジホールディングス	10	－	－
リンナイ	－	1.3	15,886
機械 (15.2%)			
NITTOKU	－	4	16,860
ディスコ	－	0.8	26,520
ナブテスコ	－	4.7	20,750
SMC	0.3	0.4	26,636
ハーモニック・ドライブ・システムズ	－	3	25,290
ダイキン工業	3.3	1.5	36,480
ダイフク	3.5	1.7	21,080
アマノ	6	－	－
マキタ	－	4	22,320
電気機器 (25.0%)			
イビデン	12	6	30,120
日立製作所	7	－	－
日本電産	2.1	2.2	29,172
ヤーマン	－	11	24,695
IPEX	5	－	－
オムロン	－	2	19,160
アンリツ	9	－	－
ソニー	8.2	4	39,200
TDK	1.9	2	29,500
ヨコオ	－	4	9,720
精工技研	7.5	－	－

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
アドバンテスト	－	3	22,200
キーエンス	1.4	0.7	36,995
ウシオ電機	11	－	－
ローム	1.7	2	17,760
村田製作所	4.5	3.4	30,613
小糸製作所	3.3	－	－
東京エレクトロン	1.2	0.9	33,048
輸送用機器 (3.9%)			
デンソー	－	4.5	22,774
トヨタ自動車	6.6	－	－
スズキ	－	5	27,960
精密機器 (6.5%)			
オリンパス	7	9	20,263
HOYA	3.5	1.9	26,372
朝日インテック	7	5	18,525
メニコン	－	2.8	18,144
その他製品 (1.1%)			
ブシロード	7.5	－	－
ニホンフラッシュ	5	－	－
パンダイナムコホールディングス	3	－	－
SHO E I	－	4	14,580
任天堂	0.7	－	－
陸運業 (－%)			
西日本旅客鉄道	3	－	－
情報・通信業 (13.3%)			
T I S	1.8	－	－
メディアドゥ	6	－	－
テクマトリックス	11	9	20,340
GMOペイメントゲートウェイ	5	1.4	20,706
インターネットイニシアティブ	－	4.3	22,059
GMOグローバルサイン・ホールディングス	－	1.5	16,440
すららネット	4	2	13,240
SUN A S T E R I S K	－	5	15,025
インフォコム	－	4.6	17,181
メルカリ	－	3	14,595
イーソル	8	－	－
B A S E	3	－	－
マクアケ	－	2	20,960
Zホールディングス	40	－	－
伊藤忠テクノソリューションズ	5	－	－
サイボウズ	－	4	11,540
オリコン	13	－	－

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
光通信	千株 1	千株 —	千円 —
卸売業 (3.2%)			
神戸物産	8	—	—
グリムス	—	18	41,562
伊藤忠商事	9	—	—
小売業 (7.6%)			
オイシックス・ラ・大地	10	7	23,450
コスモス薬品	—	0.8	14,360
セブン&アイ・ホールディングス	6	—	—
スシローグローバルホールディングス	3.5	7.5	24,750
ギフト	6.1	—	—
ニトリホールディングス	2.6	—	—
ファーストリテイリング	0.5	0.4	35,024
銀行業 (—%)			
三菱UFJフィナンシャル・グループ	60	—	—
三井住友フィナンシャルグループ	7	—	—
証券、商品先物取引業 (1.6%)			
SBIホールディングス	—	7	20,356
保険業 (—%)			
第一生命ホールディングス	13	—	—
東京海上ホールディングス	5	—	—
不動産業 (2.2%)			
オープンハウス	2	—	—
GA technologies	—	8	28,280

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
サービス業 (13.0%)			
日本M&Aセンター	6	3	21,660
エムスリー	9	—	—
エスプール	39	—	—
手間いらず	3	—	—
サイバーエージェント	—	3.5	25,130
リクルートホールディングス	5	3	12,819
ホープ	—	2.2	13,706
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	7	5	24,150
クックビズ	6.8	—	—
プロレド・パートナーズ	—	4	18,760
ベルトラ	12	—	—
ユーピーアール	—	5	18,800
NEXTONE	—	2.6	20,306
KIYOラーニング	—	1	12,550
		千株	千株
合 計	株 数・金 額	515.5	229.3
	銘柄数<比率>	69銘柄	58銘柄
			1,289,057
			<94.5%>

(注1) 銘柄欄の()内は、期末の国内株式評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨ててあります。

■投資信託財産の構成

2020年12月1日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	1,289,057千円	83.4%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	256,801	16.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,545,858	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年12月1日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,545,858,902円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	254,626,052
株 式(評価額)	1,289,057,600
未 収 配 当 金	2,175,250
(B) 負 債	181,212,911
未 払 収 益 分 配 金	168,302,592
未 払 解 約 金	266,133
未 払 信 託 報 酬	12,632,814
そ の 他 未 払 費 用	11,372
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,364,645,991
元 本	1,122,017,284
次 期 繰 越 損 益 金	242,628,707
(D) 受 益 権 総 口 数	1,122,017,284口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	12,162円

(注) 期首における元本額は1,715,224,130円、当期中における追加設定元本額は46,310,855円、同解約元本額は639,517,701円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月3日 至2020年12月1日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	14,419,358円
受 取 配 当 金	14,434,594
受 取 利 息	7
そ の 他 収 益 金	148
支 払 利 息	△15,391
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	408,120,258
売 買 損 益	626,685,525
売 買 損 益	△218,565,267
(C) 信 託 報 酬 等	△25,420,861
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	397,118,755
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△29,710,850
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	43,523,394
(配 当 等 相 当 額)	(25,560,626)
(売 買 損 益 相 当 額)	(17,962,768)
(G) 合 計(D+E+F)	410,931,299
(H) 収 益 分 配 金	△168,302,592
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	242,628,707
追 加 信 託 差 損 益 金	43,523,394
(配 当 等 相 当 額)	(25,560,626)
(売 買 損 益 相 当 額)	(17,962,768)
分 配 準 備 積 立 金	199,105,313

- (注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,552,507円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	299,279,734
(c) 収 益 調 整 金	43,523,394
(d) 分 配 準 備 積 立 金	54,575,664
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	410,931,299
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	3,662.43
(g) 分 配 金	168,302,592
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	1,500

■分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金

1,500円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。